

世界史

NO1	メソポタミア1	学習日 月 日	名前:
-----	---------	---------	-----

1. メソポタミアの自然

(1)

ヨーロッパから見て「日の上るところ」、対義語はオクシデント（日没するところ）

開放的な地形が多く、多くの民族が活躍。気候は乾燥気候が多い。

大河流域は灌漑農業が発達し、都市文明が成立 = 宗教的権威による神権政治

※ エジプト = (2) 流域 → 閉鎖的な地形

※ メソポタミア = (3) 流域 → 開放的な地形

上記の2地域の周辺に小アジア・シリア・パレスチナ・イラン高原がある。以上の地域を合わせてオリエントとよぶ。

2. 国家の成立

国家の種類

A 農耕が始まる → 一か所に定住し、多くの人々が協力して農業生産 = 絶対的な指導者の登場

B 農耕ができない → 牧畜・交易で生活 = ひとりひとりの活動によって成り立つ

= 集団を守るための義務を課す以外自由な国家が成立

BC8000頃 農耕の開始

イエリコ（湧水）、ジャルモ（降雨） … ヨルダン川流域で略奪農法から農耕開始

BC3500頃 人口増加、村落の成立、金属器の普及（銅・青銅）

→ 私有財産制の開始、文字の成立、専門職の成立

BC3000頃 都市国家が成立

神官・戦士・職人・商人など、奴隷身分の成立 = 搾取のある不平等な社会

シュメール人

都市国家

(4) 人が国家を建設 … ウル・ウルク・ラガシュなどの都市国家

※シュメール人都市国家間の争いで衰退 → アッカド人の侵入（開放的な地形！）

文化

(5) = 聖塔

(6)

ウルクの軍旗

3. メソポタミアの統一

(7)

BC24c シュメール人を征服、セム系

(8) … メソポタミアの都市国家を征服、最初の領域国家

BC2150頃 滅亡

ウル第3王朝

シュメール人が復活

シュメール法典 … 世界最古の法典、創始者(9) が制定

BC2000頃 エラム人により滅亡（イラン方面より侵入）

アムル人

BC1900頃 北西から侵入した、セム系

バビロン第一王朝（古バビロニア王国）建国、都：(10)

BC18c (11) 王 … 全メソポタミアを支配、道路の建設、治水灌漑工事

(12) … 同害復讐法 = 「目には目を、歯には歯を」 But 身分別

4. 周辺民族

(13) … インドヨーロッパ系、都：ボアズキョイ

BC17c 小アジアに強力な王国を建設、初めて鉄器を使用・戦車の使用

BC1595 バビロン第一王朝を滅ぼす（ムルシリ1世）

BC13c シリアに進出、エジプト（ラムセス2世）と争う → 1269 和約（世界最古の国際条約）

(14) … 民族系統不明（インド=ヨーロッパ語族？）、都：バビロン

イラン高原西部から南メソポタミアに侵入、ヒッタイトに代わってバビロニアを支配

バビロン第3王朝を建国、エジプト、ヒッタイト、ミタンニと抗争

BC12c エラム人により滅亡

(15) … インド=ヨーロッパ語族？、都：ワシュカンニ

北メソポタミアに王国を建設、被支配者階級はフルリ人？

※ このころインド=ヨーロッパ語族が世界的に移動

5. 古代メソポタミア文化

(16) … 民族毎に最高神をまつり、聖塔を建設 = バビロンの主神はマルドゥク

(17) … 表音文字、粘土板に刻む

ペルセポリス碑文 … グローテフェントが研究・読解（ペルシア語）

ベヒストゥーン碑文 … ローリンソンが研究・読解（ペルシア語・アラム語・アッカド語）

ギルガメシュ叙事詩 … 古代バビロニアの英雄を主人公にした世界最古の物語

六十進法・太陰暦をシュメール人が発明（閏月を入れた太陰太陽暦の使用）